

【公開文書】

臨床研究「骨髄塗抹標本における固形癌の骨髄転移症例の検査所見と形態学的特徴についての検討」について

筑波大学附属病院検査部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

骨髄に固形癌（固形癌は、血液がん以外の臓器や組織などで塊をつくる癌の総称です）の転移を認めた際には臨床病期Ⅳ期の進行がんとして扱われますが、骨髄塗抹標本（メイ・グリュンワルドギムザ染色）で遭遇する機会は少なく、検査所見、形態学的特徴について症例を集めた文献は日本に多くありません。本研究は固形癌の骨髄転移症例を集め、検査結果の傾向や形態学的所見の共通性を検索することを目的としています。これらをまとめることにより鏡検者の経験年数に関わらず、一定の精度を持って骨髄に転移した癌細胞の検出・判別が可能となり、結果を早期に臨床へフィードバック出来るため、本研究の必要性は高いと考えています。

② 研究対象者

2016年から2023年までの期間に当院血液内科で行われた骨髄検査により得られた骨髄塗抹標本で、固形癌の骨髄転移と診断された方。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年8月31日まで

④ 研究の方法

カルテ等の診療記録の調査、および血液内科内で管理しているデータベースの利用等から対象症例のデータを抽出し解析します。

カルテデータ：病院で保管・管理しているカルテ情報から、個人情報を除いて、年齢、性別、病理診断、画像検査所見、レジメン、全生存期間、無再発生存期間、併用薬、併存疾患、骨髄検査施行時の検査データ等の情報を収集します。

検査データ：ヘモグロビン濃度、血小板数、白血球数、末梢血液像所見、LD（乳酸脱水素酵素）、ALP（アルカリフォスファターゼ）、フェリチン、FDP（fibrinogen/fibrin degradation products）、フィブリノーゲン、プロトロンビン時間比、腫瘍マーカー、骨髄塗抹標本所見などを収集します。

⑤ 試料・情報の項目

血液・骨髄の検査データ、診療記録等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

特にありません

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 検査部 井上真由

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 検査部 井上真由

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：検査部 担当 井上真由

電話番号：029-853-3722 「平日9～17時」